

# 2025年大阪・関西万博アクションプラン フォローアップのポイント



国際博覧会推進本部事務局  
令和8年2月



※ 記載内容は令和8年2月現在のものであり、今後変更することがあります。

# アクションプランの全体像

13府省が100以上の取り組みを実施

催事への来場者数は延べ1,600万人以上

## 1. 未来社会の体験

社会的課題に対処しつつ、一人一人が豊かな将来の生活像を提示

### 一人一人が多様な幸せを実現できる社会

#### POINT 01 AI×ロボットによる未来社会の体感

全期間：AIスーツケースの実証  
5/20~5/26：自律型ロボットとの対話  
7/21~9/15：ムーンショット型研究開発制度

#### POINT 02 デジタル技術による社会課題解決

全期間：高度な多言語翻訳技術の体験  
5/26~6/3：Beyond 5G ready ショーケース  
5/20~5/24：都市デジタルツイン体験

#### POINT 03 最先端のモビリティ技術の社会実装

全期間：自動運転の実証  
全期間：EVバスの技術・ノウハウ発信  
全期間：空飛ぶクルマの実現

#### POINT 04 未来のヘルスケア技術の体験

6/21~7/7：Personal Health Recordを活用した万博体験  
6/21~6/29：再生・細胞医療・遺伝子治療分野の情報発信  
6/21~6/29：日本の先進的な医薬品等の情報発信

### フロンティア開発

#### POINT 05 宇宙・海洋開発、量子技術の可能性の体験

全期間：月に立つ、その先へ  
8/14~8/20：エンタングル・モーメント —[量子・海・宇宙]×芸術

### 持続可能で強靱な社会

#### POINT 06 災害からの復興と防災技術の利用

全期間：リモートセンシング技術による高精度データの解析・実証  
全期間：防災DXを活用した災害・対応情報の提供  
5/19~5/24：東日本大震災からのよりよい復興や人・地域の魅力発信

#### POINT 07 GXによる未来社会の体験

全期間：ペロブスカイト太陽電池の活用  
全期間：CO<sub>2</sub>分離・回収の実証  
全期間：合成燃料の活用拡大

#### POINT 08 循環型社会に向けた取組

全期間：循環に関する展示(日本館)  
全期間：CLT活用のさらなる推進  
全期間：食品ロス削減の普及啓発  
9/23~9/29：資源循環に関する実証・展示

### SDGs社会

#### POINT 09 こども・若者による未来社会の体験

8/5~8/11：国連を支える世界こども未来会議の開催  
8/27~8/31,9/4~9/5：ジュニアSDGsキャンプ  
7/19~7/21：デジタル学園祭

#### POINT 10 障がい者が参加・参画する共生社会

10/8~10/10：障害者の文化芸術国際フェスティバル  
10/7：ダンスドラマ Breakthrough Journey

#### POINT 11 SDGs達成に向けた取組の発信

全期間：ウーマンズ パビリオン出展事業  
5/28~6/1：地方創生SDGsフェス  
8/2~8/12：外国人との共生社会の実現に向けた取組

## 2. 日本の魅力発信

日本の成長につながる魅力・価値・技術を発信

### 日本の魅力発信

#### POINT 12 クールジャパン・日本の文化の発信

4/26~4/27：Japan Expo Paris in Osaka 2025  
4/30~5/2：地域の魅力発信・クールジャパン推進  
7/23~7/24：大阪・関西万博と連携したゲーム・eスポーツの発信

#### POINT 13 地域の魅力の発見・発信

5/4~5/6：琉球祭 Ryukyu Festival  
5/17,6/10~6/12：アイヌ文化の対外発信  
9/9~9/13：日本の建築文化

#### POINT 14 食の文化と暮らしの発信

6/8~6/15：日本の食文化の発信

### スタートアップ・中小企業発信

#### POINT 15 スタートアップ・中小企業発信

9/17~9/18：Global Startup EXPO 2025  
9/16~9/22：ICTスタートアップによる取組発信  
10/3~10/7：未来思考の中小企業の魅力・価値の発信

※記載は取り組みの例示

## 3. 万博を契機とした地方活性化（全国大のメリット化）〈万博交流イニシアチブ〉

### 万博を契機とした地方活性化

万博のメリットを大阪・関西のみならず日本全国が享受し、地方活性化を実現

### 各地域への誘客促進

・デジタル田園都市国家構想交付金

### 各地域の国際交流推進

・万博国際交流プログラム

# アクションプラン等を通じた政府の成果と今後の展開 ①政策の普及・啓発の強化

## 成果

### <万博における実施状況>

#### (1) 広報手段のアップグレード

##### ①映像・没入型体験

- ・ Beyond 5G readyショーケース
- ・ 宇宙開発利用（月に立つ、その先へ）

##### ②アートやコンテンツ等との連携

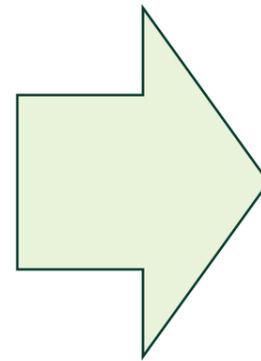
- ・ エンタングル・モーメント  
—[量子・海・宇宙]×芸術
- ・ 地方創生SDGsフェス
- ・ 資源循環に関する催事・ナッジ実証

#### (2) 国際的認知・連携の拡大

- ・ 知的財産の活用（WIPOとの連携）
- ・ テーマウィーク  
(ヘルスケア・ネイチャー・クールジャパン・農業 など)

#### (3) ビジネスイベントとの連動

- ・ Global Startup EXPO 2025
- ・ HEALTH DESIGN (健康・医療・ヘルスケア)



### <今後の展開>

#### ・万博での展示物を広報に継続活用

(2026年3月に日本橋に構築されるイノベーション拠点NICT「Innovation Bridge @TOKYO」など)

#### ・万博で生まれた異分野交流の深化

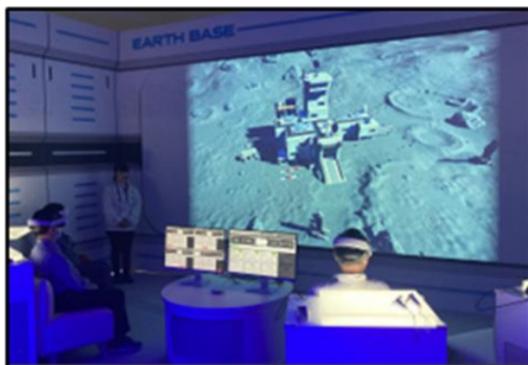
(研究者が芸術家等と協力し、効果的な情報発信を模索する機会となった。万博後も、大学・研究機関等でアウトリーチ活動等を展開予定。)

#### ・展示内容を用いた教育

(資源循環に関する展示物を学習教材として利用し、小学生向けの出前授業を実施)

#### ・国際展示会の継承

(「Japan Health」を2026年以降「WHX (World Health Expo) Osaka」として開催予定 (2026年7月2日~4日))



Beyond 5G readyショーケース

#### 「リモートムーンオペレーション」

地球と月面ほどの遠距離であっても、遅延を感じさせないスムーズな月面作業が可能となる未来を体験。



地方創生SDGsフェス

人気ゲーム「桃太郎電鉄」とコラボし、地方創生イベントを実施。



WHX (World Health Expo) Osaka  
同HPより

### 成果

#### <万博における実施状況>

##### (1) データ獲得による研究の加速

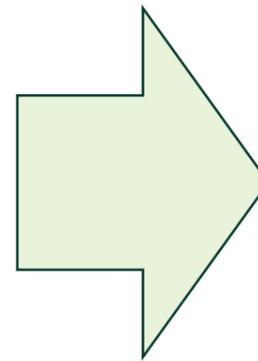
- ・ リモートセンシング
- ・ 自律学習ロボット
- ・ AIスーツケース
- ・ EVバス (大規模運用・走行中給電)

##### (2) 商用化を見据えた具体化

- ・ 空飛ぶクルマ
- ・ CO<sub>2</sub>分離・回収
- ・ メタネーション
- ・ CO<sub>2</sub>排出削減・固定コンクリート
- ・ 自動運転技術
- ・ 多言語翻訳技術

##### (3) 他地域への横展開を見据えた取組

- ・ ペロブスカイト太陽電池
- ・ 次世代船舶 (水素船)



#### <主な今後の展開>

- ・ 万博で獲得した実証データの解析  
(自律学習ロボットの研究等)
- ・ 万博で行った実証の継続  
(自動運転の知見、データ等の検証及び優良事例や課題の取りまとめ)
- ・ 商用化への移行  
(空飛ぶクルマの商用運航を一部先行地域で2027~28年に開始予定)  
(CO<sub>2</sub>分離・回収技術を2027年に商用化予定)
- ・ 他地域への横展開  
(水素燃料電池船を東京都で活用予定)



走行中給電の実証



空飛ぶクルマ  
(SkyDriveデモフライト)



次世代船舶 (水素船)

### 成果

#### <万博における実施状況>

北海道から沖縄まで全国550以上の自治体が万博会場に参加。万博会場内の自治体関係展示・イベントの来場者数は延べ1,000万人以上。

95自治体が76か国を相手に154件の国際交流プログラムを実施

#### (1) 自治体の観光促進

- ・自治体の万博会場内参加の支援
- ・自県への誘客促進の支援

#### (2) 万博を通じた文化発信

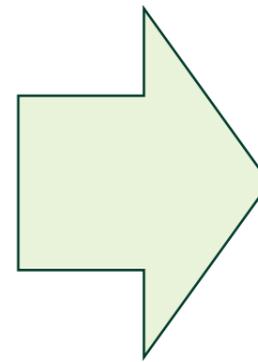
- ・日本博2.0

#### (3) 自治体の国際交流推進

- ・万博国際交流プログラム

#### (4) こども・地方人材の育成

- ・修学旅行等における万博の活用
- ・出前授業 (EXPOスクールキャラバン)



#### <主な今後の展開>

- ・ 地方公共団体の地域独自の取組等を支援  
(地域未来交付金 (内閣府地方創生推進事務局)、NEXT日本博 (仮称) (文化庁)、万博レガシー事業 (観光庁)、MICE誘致・開催促進事業 (観光庁)、国際交流関連各種支援制度 (総務省、JICA 等))
- ・ 企業による自主的な出前授業の継続



日本博2.0  
(琉球舞踊「諸屯 (しゅどうん)」)



万博国際交流プログラム  
(鹿児島県三島村×ギニアのジャンベ演奏)



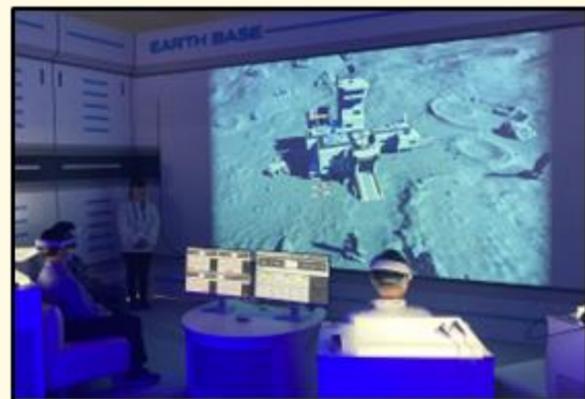
出前授業 (EXPOスクールキャラバン)  
■場 所：埼玉県立朝霞高等学校 (定時制課程)  
■講 師：落合 陽一 テーマ事業プロデューサー  
■テーマ：デジタルネイチャー時代の学びと遊び

## ①映像・没入型体験

### Beyond 5G ready ショーケース



会場入り口



#### リモートムーンオペレーション

地球と月面ほどの遠距離であっても、遅延を感じさせないスムーズな月面作業が可能となる未来を体験。



展示ブースでは研究機関や企業の研究者が解説

#### ①実施結果・政策成果

次世代の情報通信基盤であるBeyond 5Gがもたらす未来社会や最先端技術を体験できる催事を実施した。実施に際しては、総務省監修のもと民間の創意工夫やエンタメ要素を入れて設計・制作を行った。それにより、既存の通信関連イベントよりも遥かに広い層に情報発信を行った。また、催事を通じて、NICT（情報通信研究機構）や企業のマッチング・連携につながったケースがあり、今後の産学官連携や政策広報における新たな知見を得ることができた。

#### ②今後の方向性

Beyond 5G ready ショーケース催事の実施を通じて得られた知見やコンテンツ等を有効に活用し、次世代情報通信に向けた各種取り組みを推進する。

（2026年3月に日本橋に構築されるNICTのイノベーション拠点「Innovation Bridge @TOKYO」など）

総務省

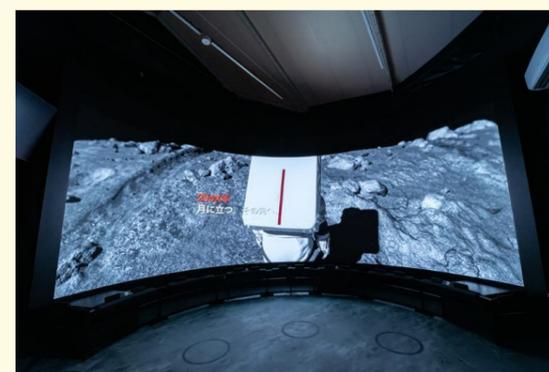
### 宇宙開発利用 月に立つ、その先へ



JAXAブース全体



月面重力体験



高精細CG映像

#### ①実施結果・政策成果

月やその先の火星をも見据えた宇宙開発利用等の取組を、国民および世界に広く情報発信。ブース全体を月面に模し、来場者に様々な没入体験を提供した。また、JAXA職員が説明員として常時ブースに立ち、来場者とのコミュニケーションを実施することで、取り組みを身近に感じていただいた。展示内の高精細LEDビジョンと高解像度CGは、没入感を高めた成果として、デジタルサイネージアワード2025優秀賞を受賞した。

#### ②今後の方向性

日本の宇宙開発の理解増進に資する活動を継続し、国民と社会への説明責任を果たすとともに、海外も含めた一層の理解増進を図る。そのために、万博に出展したLEDカーブビジョン、また有人と圧ローバー、探査機模型をJAXAの各事業所等に移設し、万博レガシーとして展示・イベント等での活用を継続する。（LEDカーブビジョンのJAXA筑波宇宙センターでの活用など）

文科省

## ②アートやコンテンツ等との連携

### エンタングル・モーメントー [量子・海・宇宙] × 芸術

#### ①実施結果・政策成果

「エンタングル・モーメント」と題し、私たちをとりまく「量子・海・宇宙」の領域をテーマに最先端の研究成果や本物の実験装置に触れ、研究者からの生の話を聞き、研究成果のデバイスを応用したり、着想を得たりしたアーティストらの表現に触れることで、サイエンスの「わからないことのワクワク感」や、アートが伝える複雑な感覚を体感できる展示を実施した。量子の本質や技術の現状、海洋研究の最前線を伝える絶好の機会となった。

#### ②今後の方向性

本催事を通じて研究者がアーティスト等の異分野専門家と協力し、学問の新たな伝え方を模索した結果、効果的なコミュニケーション手法が生まれ、出展者間のネットワーク形成につながった。これらの成果をレガシーとして活かし、各研究機関でアウトリーチ活動を展開していく。



(海洋・深海展示)



(量子暗号通信展示)



(量子コンピュータアート)

内閣府

### 日本版SDGsモデル（地方創生SDGs）の国内外発信・展開



(セレモニーの様子)



(取組みを発信する自治体ブース)



(様々なコンテンツによるステージ企画)

#### ①実施結果・政策成果

人気ゲーム「桃太郎電鉄」とコラボし、地方創生イベントを実施した。「楽しく、遊んで、学ぶ」というコンセプトによる体験要素を交えた取組み発信に対して高い反響があった。多数のメディアによる取材・媒体掲載、来場者のSNS発信でも広く情報が拡散。これまでの発信手法に比べて圧倒的な露出規模となり、“地方創生SDGsの取組み”の認知が拡大した。

#### ②今後の方向性

メディア連携等による「地方創生SDGs」の発信コンテンツの企画・拡充。コナミデジタルエンタテインメント社をはじめとした民間企業等との官民連携による「地方創生SDGs」の情報発信機会の創出・強化する。

内閣府

### ②アートやコンテンツ等との連携

#### 資源循環に資する理解促進



#### ①実施結果・政策成果

持続可能な形で資源を利用する循環経済（サーキュラーエコノミー（CE））の認知拡大や理解促進を目的として、大人気の「科学漫画サバイバル」シリーズとコラボした体験型ラボラトリーを開催。リメイクファッションショーやPC解体などCEを体験できるステージイベントを行った。

催事を通して、幅広い層にCEの取り組みを発信することができた。

#### ②今後の方向性

展示内容を活用してCE理解促進や行動変容につなげるべく、国内小学生を対象とした出張授業「サーキュラーエコノミーのがっこう」などのイベントを実施している。



(小型家電協会PC解体イベント)

経産省

## 知的財産の活用（WIPOとの連携）



（イベントキービジュアル）

### ①実施結果・政策成果

【展示】知的財産を活用して社会課題を解決した好事例を紹介した。社会的問題解決に知的財産が有用であることを、知的財産に縁遠い層を含む多くの方々に対して国内外に発信したのは、今回のイベントが初。

【国際フォーラム】世界知的所有権機関(WIPO)等と連携し、SDGsに向けた知財活用の促進等に関する国際フォーラムも開催した。万博を機に、WIPOが「Green Technology Book 万博特別版」を発行、日本企業のグリーン技術が多数掲載された。



（ラウンドテーブルの様子）



（Green Technology Book 万博特別版（日・英））

### ②今後の方向性

【展示】今回の出展を契機に、知財を活用した社会課題解決の普及に関する更なる取組を検討する。

【国際フォーラム】WIPO GREENの参画者の裾野拡大や、ビジネスマッチング支援施策の実施等を通じて、マッチング・技術移転成功事例の増加に繋げていく。

経産省

## テーマウィーク（文化・食・健康等）



（RELAY THE FOOD～未来につなぐ食と風土～）

### ①実施結果・政策成果

世界中の国々が地球規模の課題の解決に向け、対話によって「いのち輝く未来社会」を世界とともに想像することを目的として、地球的課題の8つのテーマに沿い、429回のプログラムを実施した。

万博を機に、政府、自治体、各国及び出展企業等が、地球的課題に対して連携し解決策を話し合う機会を創出した。

### ②今後の方向性

テーマウィークを通じて形成された地球課題に取り組む知的ネットワークについて、一過性なものとならず、知的・人的レガシーとして今後の万博に継承していく。



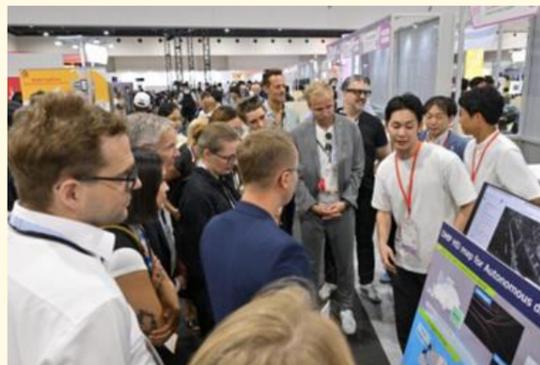
（グローバルヘルスへの協同的アプローチ）



（8人のテーマ事業プロデューサーと考える“いのち”とSDGs+Beyond）

関係省庁

## Global Startup EXPO 2025



(ブース出展の様子)

### ①実施結果・政策成果

ディープテック領域を中心としたスタートアップの海外展開や資金・人材の呼び込みの促進、日本のエコシステムのグローバル化を目的としたスタートアップイベント「Global Startup EXPO 2025」を開催した。JETRO・米国カリフォルニア大学バークレー校のアクセラレーターとの協力深化に関する共同声明を発表するなど連携が拡大した。

本イベントでのマッチング件数は1,197件に達するなど、日本のスタートアップが国際的な舞台で存在感を高める契機となった。

### ②今後の方向性

本イベントを契機に生まれたマッチングに対して資金調達や協業連携等の具体的案件の組成に向けたフォローアップを行い、スタートアップ育成5カ年計画の柱でもあるスタートアップの海外展開と資金・人材の呼び込みを促進する施策を強化する。2026年秋には第2回となる「Global Startup EXPO 2026」を大阪をはじめとする地方公共団体等と連携して開催する。



(セッションの様子)



#### 共同声明の発表

日米の間に、ディープテック領域における大学等の研究成果や次世代技術の社会実装を加速させ、スタートアップの成長を促進させる、長期的かつ国境を越えたイノベーション回廊を構築することを目的とした共同声明に署名

経産省

## HEALTH DESIGN 輝き、生きる。Live Brighter



(展示の様子)

### ①実施結果・政策成果

「健康とウェルビーイング」テーマウィークと連動してウェルネス・医療の現状を紹介する展示・体験イベントを開催した。多くの来場があり、賑わいを見せた。実際に体験や企画に触れて楽しむ来場者の姿が見られた。同時期に医療・ヘルスケア分野に特化した国際見本市「Japan Health」が開催され、国内外から多くの医療機器・福祉機器関係者が参加した。日本の高い技術力を海外にもアピールすることができ、グローバル展開への足掛かりとなった。



(映像の放映)

### ②今後の方向性

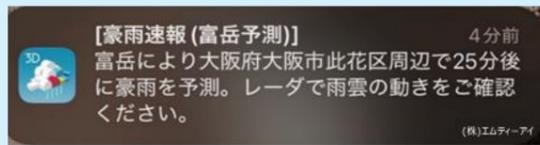
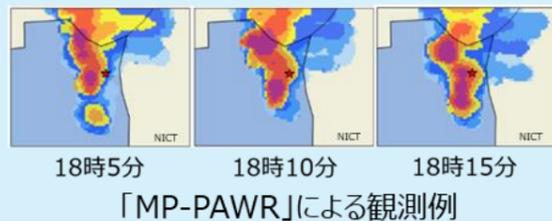
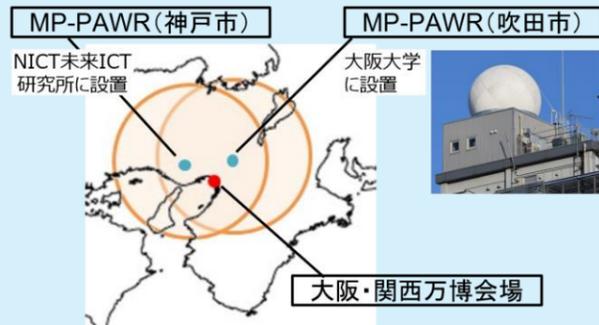
「Japan Health」は2026年からはWHX Osaka (World Health Expo Osaka[2026年7月2日～4日開催予定])として継続実施する。万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を継承して、日本の先端医療技術とサービスを世界に発信していく。



(岸田元総理視察)

厚労省・経産省

## リモートセンシング技術



アプリ画面上の予測プッシュ通知例



スーパーコンピュータ「富岳」を用いた実証(雨雲の3D把握の様子)

## ①実施結果・政策成果

万博を機に、2台の次世代気象レーダ「MP-PAWR」(マルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダ)とスーパーコンピュータ「富岳」等を用いた高精度なデータの解析及びリアルタイム配信の実証実験を大阪・関西万博の会場を含む関西圏で実施した。

従来は予測が難しかったゲリラ豪雨等の大雨について高精度でリアルタイムな観測・データ伝送・予測・配信システムを技術的に実証した。スマートフォンアプリ「3D雨雲ウォッチ」を通し、プッシュ通知等を博覧会協会等に提供した。

## ②今後の方向性

引き続き本実証実験を通じて得られた観測・予測データ等の分析や検証を実施していく。

関係機関と連携し、防災減災社会の実現に向けて、次世代気象レーダ「MP-PAWR」等を活用した大雨等の観測・予測技術の高度化に取り組む。

総務省

## 自律学習ロボットとの対話



外骨格ロボットAetro(エアトロ) 投げ入れたいゴールを察知して投球動作をアシスト



自律型ロボットIndy(インディ) 対話の内容に応じて最適なアイテムを提案



対話型ロボットNikola(ニコラ) 投げかけられる様々な場面に応じた表情を実演

## ①実施結果・政策成果

国立研究開発法人理化学研究所にて、私たちの生活に溶け込みさりげなく手助けをしてくれる、まるで「こころ」があるかのようなロボットの開発を目指しているところ、『こころ+ロボット・ラボ～人がロボットに「ありがとう」という日～』という表題で、開発中の3種類のロボットの体験展示による実証実験を実施した。

人とロボットのインタラクションの学術的研究において、この規模の多様な反応を得られたことは、極めて貴重な機会であり、今後のロボット開発へ生かすことのできる有意義なデータを収集もできた。

## ②今後の方向性

人に寄り添い人をさりげなく支援するロボットの開発に向け、2026年度末までに、本実証実験で得られたデータ等を解析し、研究成果として発表予定。

文科省

### AIスーツケースの実証



AIスーツケース



体験の様子

#### ①実施結果・政策成果

視覚障害者の移動を支援するロボット「AIスーツケース」の体験および展示等を通して、ロボティクスやAIを活用した先端技術と人が共存するインクルーシブな未来社会（Society5.0）像を国内外からの来場者に対して提示、実感いただくことができた。

#### ②今後の方向性

大阪・関西万博での実証実験によって得られた成果及び課題を踏まえ、技術向上に向けた開発を進めるとともに、日本科学未来館等での実証を継続的に展開し、「AIスーツケース」を活用したインクルーシブな未来社会に実現に向けて取り組む。

文科省

### 日本のEVバスの技術・ノウハウ発信



大阪メトロが運行するEVバス  
EVバスの実装に必須となる運行と充電の適切なマネジメントについて実証



走行中給電の実証

#### ①実施結果・政策成果

EVバスの大量導入(100台規模)を通じたエネルギーマネジメント・運行管理を行った。万博での100台規模の継続運用の結果を経て、ノウハウが蓄積された。また、走行中給電技術の活用に関する実証を行い、結果として、実装に向けた課題を洗い出すことができた。

#### ②今後の方向性

万博実証で得られたノウハウを活かしつつ、引き続きEVバスの導入支援を行い、国内メーカーによるEVバスの開発を後押ししていく。

経産省・国交省・環境省

### 空飛ぶクルマの実現



(SkyDriveデモフライト)



(丸紅デモフライト)



(Soracle実機サイズ・モデル機展示)



(ANA/Joby Aviationデモフライト)



(EXPO Vertiport)



(空飛ぶクルマステーション)

#### ①実施結果・政策成果

空飛ぶクルマ特有の機体性能や運用に対応するため、万博での運航に必要な基準の策定・交通管理体制の整備・安全審査等を実施した。万博会場内バーティポート（離着陸場）において、国内外複数メーカーによる機体のデモフライト等を実施し来場者が身近に次世代の空の移動手段を体感することで、空飛ぶクルマの社会受容性の向上に寄与した。

#### ②今後の方向性

万博での空飛ぶクルマの運航による認知度や社会受容性の向上を活用し、万博後の空飛ぶクルマの社会実装をより効率的・効果的に進めていく。

社会実装については、空の移動革命に向けた官民協議会において、「大阪・関西万博後の社会実装の実現イメージ」をとりまとめた。そこで示した、一部先行地域での2027~28年の商用運航開始、2030年代後半の広域的な運航ネットワーク形成等に向け、関係者と連携して具体化に取り組んでいく。

経産省・国交省

### CO<sub>2</sub>分離・回収の実証



(吸着塔設備)



(実証設備全体像)

#### ①実施結果・政策成果

低コスト・低エネルギーなCO<sub>2</sub>分離・回収技術開発を遂行中。万博会場で発生する排ガスを対象に分離・回収実証試験を行い、社会実装への足掛かりにするとともに、テーマウィークにおける展示等を通じてGXに対する取り組みの理解醸成を図った。実証の結果、CO<sub>2</sub>はメタネーションに利用できるレベルである純度95%以上で回収できることを確認できた。

#### ②今後の方向性

万博での実証後、実証機を事業所内に移設し、万博で得られた課題を踏まえ、引き続き実証を進める。

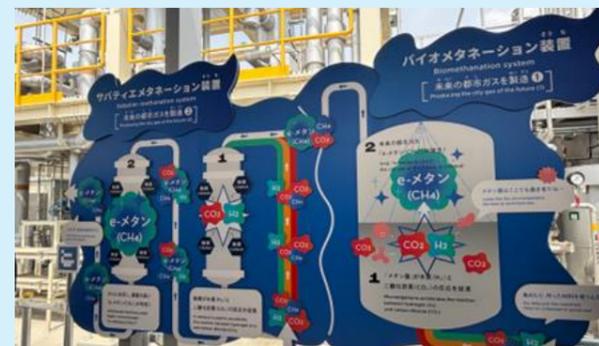
2027年度以降に、ボイラ排ガス向けCO<sub>2</sub>回収システムとして商用化を予定している。

経産省

### 再エネ水素を使ったメタネーション実証



(実証設備全景)



(メタネーションについての解説)



(見学ツアーも実施)

#### ①実施結果・政策成果

再エネ由来水素と会場内で発生した生ごみ由来のバイオガスや大気中から回収したCO<sub>2</sub>などからメタネーションを行い、製造された合成メタンを、配管を通して、会場内一部の都市ガス消費機器へ供給する実証事業を実施した。供給した合成メタンは、濃度が十分であることや安定的な製造ができたことで、都市ガスと同様のインフラで利用可能であることを確認できた。見学ツアーも実施し、社会実装へのイメージも提示できた。

#### ②今後の方向性

本実証事業で活用したメタネーションのシステムをスケールアップし、未利用バイオマス資源が存在するごみ焼却工場や食品加工工場等への導入を近畿圏を中心に進めていくことを検討している。

環境省

## CO<sub>2</sub>排出削減・固定量最大化コンクリートの活用



(サステナドーム)

### ①実施結果・政策成果

CO<sub>2</sub>吸収・固定型コンクリートを用いた「サステナドーム」を設置。従来の吹付けコンクリートと比較して材料由来のCO<sub>2</sub>排出量が約70%削減となった。材料や製造工程の組み合わせが異なる11種類の舗装ブロックを設置。歩道用舗装ブロックとして必要な曲げ強度をクリアすることを確認できた。

### ②今後の方向性

経年変化等を検証する必要があるため、事業者にて引き続き研究を行う。材料の製造、輸送、施工に係るCO<sub>2</sub>の排出削減及びCO<sub>2</sub>固定量の増大を図り、コスト低減を実現するCO<sub>2</sub>排出削減・固定量最大化コンクリートの製造システムを確立させていく。

加えて、2030年までに同コンクリートのCO<sub>2</sub>固定量の計測・評価方法を確立させ、環境価値を適切に評価する仕組みを作る。



(EXPOアリーナ内の舗装ブロック)

経産省

## 自動運転の一層の推進



(阪急バス)



(京阪バス)



(Osaka Metro)

### ①実施結果・政策成果

万博において来場者輸送を担う一部のバスについて、3つのルートでの自動運転（レベル4を含む）を実施した。



(新大阪・大阪駅ルート)



(舞洲駐車場～万博会場)



(万博会場内の外周道路)

### ②今後の方向性

レベル4自動運転移動サービスの早期普及・拡大に向けて、万博開催の準備から万博終了までに得られた技術的な知見やデータ等について、万博終了後に検証を行い、他の地域へ横展開できるように優良事例や課題を取りまとめる。

デジタル庁・国土交通省・警察庁・総務省・経産省

### 純国産の多言語翻訳技術



翻訳アプリ「EXPOホニヤク」



「EXPO同時通訳システム」によるセミナー同時通訳

### ①実施結果・政策成果

多言語翻訳技術について、現状の逐次翻訳に加えて、AIによる実用レベルの同時通訳を実現するための研究開発を実施している。国内外から多くの来場がある万博にて、実装・活用することで、言葉の壁から解放された万博体験を実現するとともに、技術の有用性を示した。

社会実装の早期実現に向け、認知を拡大することができた。

### ②今後の方向性

同時通訳技術のさらなる高度化と既存サービスへの同時通訳機能の統合についての研究開発を行う。

NICTから企業への技術移転・ライセンス提供と、企業からの研究開発へのフィードバック体制の確立により、同時通訳技術の実用的なプロダクト開発を促進させる。

総務省

## ペロブスカイト太陽電池の活用



世界最大級のフィルム型ペロブスカイト太陽電池  
(出典) 積水化学工業株式会社

### ①実施結果・政策成果

万博会場西ゲートバスターミナルに、世界最大級規模である全長約250mにわたりフィルム型ペロブスカイト太陽電池を設置。夜間LED照明用の電力として利用された。従来型の太陽電池の設置が困難な曲がった屋根に、ペロブスカイト太陽電池の特徴を活かした設置をすることができた。

また、フィルム型ペロブスカイト太陽電池を衣服に張り付けた「スマートウェア」を一部スタッフユニフォームとして利用し、会場内で次世代の再エネ技術を披露した。

### ②今後の方向性

本事業事例を他自治体等に横展開するなど、ペロブスカイト太陽電池の社会実装を進めていく。2030年までの早期にGW級の供給体制を構築を進めつつ、2040年に約20GWの導入目標の達成を目指し、官民が連携して、世界に引けをとらない「規模」と「スピード」で量産技術の確立・生産体制整備・需要創出を三位一体で進めていく。

経産省



「スマートウェア」  
(出典) 豊田合成株式会社

## 次世代船舶の体験



(運航)



(水素船への燃料補給)

### ①実施結果・政策成果

大阪・関西万博において、水素燃料や電気を動力とする次世代船舶を運航した。

運航を通じ、商用運航の実現に向けた水素燃料電池船とエネルギー供給システムの開発・実証も併せて実施した。

### ②今後の方向性

水素エネルギーの社会実装化に向けた事業の中で水素燃料電池船の運航を継続し、引き続き商用運航の実現に向けた開発・実証を行うと共に、次世代船の魅力の発信を行う計画。

実施事業者の岩谷産業は東京都と水素燃料電池船「まほろば」について無償提供する基本協定を締結した。都は同船を水素の普及啓発やイベントなどで活用していく予定。

経産省・国交省

## 自治体の観光促進

### 会場内参加の支援、自県への誘客促進の支援



(万博首長連合催事 LOCAL JAPAN展)



(デジ田交付金：交流人口の拡大と先端技術の導入による地域活力UP！住み続けたい兵庫の実現「ひょうごフィールドパビリオン」／兵庫県)

### ①実施結果・政策成果

万博会場には北海道から沖縄まで全国550以上の自治体が参加し、自治体関係の展示・イベントへの来場者数は延べ1,000万人以上。LOCAL JAPAN展など共通の強味を持った遠隔地の自治体同士による広域連携などが新たに生まれた。

自県への誘客促進の支援では、デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生タイプ）等により支援。兵庫県では県全体をパビリオンとしてSDGsをテーマとした観光促進を実施した。

### ②今後の方向性

地方の大きな伸び代と地域特性を最大限に活かし、地方の暮らしの安定を実現するとともに「強い経済」を構築するため、地場産業の付加価値向上など、地方公共団体の地域独自の取組を支援していく。

内閣官房・観光庁

## 万博を通じた文化発信

### 日本博2.0



(流鏝馬)



(琉球舞踊「諸屯（しゅどうん）」)



(BiG-i Art Project)

### ①実施結果・政策成果

日本の文化芸術を「日本の美と心」をテーマに国内外へ発信する「日本博2.0」を、全国各地で展開するとともに、一部の取組を万博会場内でも実施した。流鏝馬の実演、琉球舞踊の実演及びからくり花火の展示、実演と大型映像を融合させた新感覚の能楽公演、障害者文化芸術団体によるアート展示など、様々な取組を実施した。

### ②今後の方向性

大阪・関西万博の会場内催事を始め、全国各地で展開してきた日本博2.0の取組におけるレガシーを一過性のものとすることなく、日本博の新たな展開の検討（NEXT日本博（仮称））も含め、持続可能なものとする工夫や取組を進めていく。

文化庁

## 自治体の国際交流推進

## こども・地方人材の育成

### 万博国際交流プログラム

### 修学旅行等の促進・EXPOスクールキャラバン等

#### ①国際交流の成果

地方自治体が実施する万博参加国との間の国際交流を支援する取組。登録された全交流計画は154件で、95自治体が参加し、交流相手国は76か国。特にアフリカ地域などのグローバルサウスとの間で多くの新たな交流が生まれた。

万博会期中に万博国際交流プログラムを通じて会場内外で実施されたイベント数は400件程度。イベントの来場者数は延べ15万人以上に上った。

#### ②今後の方向性

万博後も活用可能な関係省庁等の支援制度をとりまとめ情報提供し、登録自治体における

- ・次世代を担う人材育成
- ・地域振興のプラットフォーム構築
- ・地場産業の磨き上げ
- ・地域のブランディング強化
- ・問題解決に向けた連携

等の取組につなげていく。



(鹿児島県三島村×ギニアのジャンベ演奏)



(栃木県那須塩原市×オーストリアの合唱)



(沖縄県宜野座村×カメルーンのバカ族との共演)

内閣官房



(教育旅行の手引き)



(修学旅行の様子)



(出前授業 (EXPOスクールキャラバン) )

- 場 所：埼玉県立朝霞高等学校 (定時制課程)
- 講 師：落合 陽一 テーマ事業プロデューサー
- テ-マ：デジタルネイチャー時代の学びと遊び

#### ①実施結果・政策成果

修学旅行等における万博の活用に関して、オンライン説明会を実施するなど、万博について教育関係者へ情報発信。来場実績として、修学旅行、校外学習、自治体のこども招待事業等により約130万人のこども達が万博に来場した。

また、万博会場において、こども達の探究活動の成果発表や、文化芸術活動等への参画の場を通じ、こども達の教育やその情報発信の機会が創出された。

さらに、出前授業 (EXPOスクールキャラバン) では、シニアアドバイザー、テーマ事業プロデューサー、万博への出展・協賛企業等が全国47都道府県の小・中・高等学校・特別支援学校に赴き、それぞれの専門知識を活かして出前授業を実施。

21,506人のこども達が参加し、SDGs や未来社会について考え、学ぶ機会となった。

#### ②今後の方向性

出前授業での学びや、万博での体験をきっかけとして、各学校等教育機関等におけるSDGs教育はもとより、こども達自身が自発的な学びにつなげていくことを期待している。

内閣官房・経産省・文科省